

骨子案対比表(第3回委員会案と案の比較)

<p>1. 地震・火山現象の解明のための研究</p> <p>1. 1 史料と地質データに基づく地震・火山大規模災害の解明</p> <p>1. 1. 1 史料に基づく地震・火山現象の解明</p> <p>1. 1. 2 地質・地形データに基づく地震・火山現象の解明</p> <p>1. 2 地震・火山噴火発生場のモデル化</p> <p>1. 2. 1 東北地方太平洋沖地震の地殻応答</p> <p>1. 2. 2 プレート境界地震</p> <p>1. 2. 3 海洋プレート内部の地震</p> <p>1. 2. 4 内陸地震と火山噴火</p> <p>1. 3 地震発生予測のためのモデル構築</p> <p>1. 3. 1 構造共通モデルの構築</p> <p>1. 3. 2 物理モデルの構築</p> <p>1. 4 火山現象の定量化とモデル化</p> <p>1. 4. 1 マグマ噴火を主体とする火山</p> <p>1. 4. 2 熱水系の卓越する火山</p>	<p>1. 地震・火山現象の解明のための研究</p> <p>(1) 地震・火山現象に関する史料・考古・地質データの収集と整理</p> <p>ア. 史料データのデータベース化と蒐集</p> <p>イ. 考古データの蒐集・集成と分析</p> <p>ウ. 地質データの収集と整理</p> <p>(2) 低頻度大規模地震・火山現象の解明</p> <p>ア. 史料・考古・地質データに基づく低頻度大規模地震・火山現象の履歴の解明</p> <p>イ. 近代観測データに基づく低頻度大規模地震・火山現象の評価</p> <p>ウ. 東北地方太平洋沖地震</p> <p>(3) 地震・火山噴火発生場の解明</p> <p>ア. プレート境界地震</p> <p>イ. 海洋プレート内部の地震</p> <p>ウ. 内陸地震と火山噴火</p> <p>(4) 地震発生モデルの構築</p> <p>ア. 構造共通モデルの構築</p> <p>イ. 物理モデルの構築</p> <p>(5) 火山現象の定量化とモデル化</p> <p>ア. マグマ噴火を主体とする火山</p> <p>イ. 熱水系の卓越する火山</p>
<p>2. 地震発生・火山噴火の予測のための研究</p> <p>2. 1 地震発生長期評価手法の高度化</p> <p>2. 2 モニタリングデータによる現状の理解と予測</p> <p>2. 2. 1 プレート境界滑りの時空間発展</p> <p>2. 2. 2 ひずみ・応力の変動</p> <p>2. 2. 3 統計的モデルによる地震活動評価</p> <p>2. 3 地震先行現象に基づく予測</p> <p>2. 4 火山噴火事象系統樹の高度化</p> <p>2. 5 火山噴火の分岐条件</p>	<p>2. 地震発生・火山噴火の予測のための研究</p> <p>(1) 地震発生長期評価手法の高度化</p> <p>(2) モニタリングデータによる地殻活動の理解と予測</p> <p>ア. プレート境界滑りの時空間発展</p> <p>イ. ひずみ・応力の変動</p> <p>ウ. 統計的モデルによる地震活動評価</p> <p>(3) 地震先行現象に基づく予測</p> <p>(4) 火山噴火事象系統樹の高度化</p> <p>(5) 火山噴火の発生・分岐条件</p>
<p>3. 地震発生・火山噴火による災害誘因の予測のための研究</p> <p>3. 1 強震動と津波などの事前予測手法の高度化</p> <p>3. 2 強震動と津波などの即時予測手法の高度化</p> <p>3. 3 噴煙・溶岩流の時空間発展予測の高度化</p> <p>3. 4 地震・火山災害史の研究</p> <p>3. 5 災害情報発信方法の高度化</p>	<p>3. 地震発生・火山噴火による災害誘因の予測のための研究</p> <p>(1) 災害発生機構の素因と誘因</p> <p>(2) 事前予測手法の先駆的研究</p> <p>(3) 即時予測手法の先駆的研究</p> <p>(4) 地震・火山災害事例の研究</p> <p>(5) 災害情報発信方法の高度化</p>
<p>4. 体制の整備</p> <p>4. 1 研究基盤の整備</p> <p>4. 1. 1 地震火山現象のデータベース</p> <p>4. 1. 2 観測基盤とデータ流通</p> <p>4. 1. 3 観測・開発技術の開発</p> <p>4. 2 教育及び社会への対応</p> <p>4. 2. 1 研究者の養成</p> <p>4. 2. 2 研究成果の普及活動</p> <p>4. 3 関連研究分野との連携の強化</p> <p>4. 4 国際共同研究・国際協力</p>	<p>4. 体制の整備</p> <p>(1) 研究基盤の整備</p> <p>ア. 地震火山現象のデータベース</p> <p>イ. 観測基盤とデータ流通</p> <p>ウ. 観測・解析技術の開発</p> <p>(2) 教育及び社会への対応</p> <p>ア. 研究者の養成</p> <p>イ. 研究成果の普及活動</p> <p>(3) 関連研究分野との連携の強化</p> <p>(4) 国際共同研究・国際協力</p>